

各専門部会のあり方について（まとめ）
※相談支援部会及び子ども部会を除く

（1）調査内容

これまで、目黒区障害者自立支援協議会を通じ、委員のみなさまから同協議会の体制見直し案についてのご意見を頂戴し、専門部会のあり方について、以下の2つの案を提示してきました。

《案1》

現時点で専門部会として検討していく課題があるかを各部会で検討いただき、課題がある場合には部会とする。ただし、複数部会から複数の課題があがった場合には、その中から協議会として優先するものを決定する。

《案2》

まずは、相談支援部会及び子ども部会のみでスタートし、個別事例等を踏まえた協議等のなかで、専門部会として組織して検討すべき課題が発生した段階で専門部会を組織する。

また、相談支援部会及び子ども部会以外の5つの部会については体制の見直しに向けて、次の①から③についてご検討いただくようお願い致しました。

- ①部会として特定の課題を検討していくか
- ②連絡会（仮称）として活動を進めていくか
- ③たたき台の体制以外に希望する活動形態があるか

つきましては、貴部会の意向について、別紙にご記入のうえ、令和6年2月2日までにご回答をおねがいたします。

回答方法：メール、郵送又はFAX

回答先：目黒区役所 障害施策推進課 計画推進係

（2）回答結果

- ①を選択・・・なし
- ②を選択・・・全部会（高齢・GH、一般就労、施設就労、意思疎通、防災）
- ③を選択・・・なし

(3) 各部会からの回答

部会名：高齢化・グループホーム対策部会

部会のあり方について、希望するものをご回答ください。

- ①特定の課題を検討する必要があるため、部会として引き続き活動を行う。
- ②部会ではなく連絡会（仮称）として活動を進めていく。
- ③たたき台で説明を受けた体制以外の体制を望む。

➡回答： ② （①～③の数字を記入ください）

上記回答について、理由を記入してください。

③を選択した場合はどのような体制が望ましいと考えるか、なるべく具体的にご記入ください。

（②を選択した場合の例）連絡会に移行しても協議会へ意見を諮ることができるため、部会としての位置づけでなくても、活動を続けることができる。

➡回答：

具体的な課題がまとまっていない状況で①の継続は難しいと思っています。
私達の部会としては、地道に話し合いを継続して盛り上げることを考える必要があると思います。そのため、今年度内に部会を開催して、来年度の進め方を検討し、あらためてコンセンサスを作りたいと考えています。

部会名：一般就労部会

部会のあり方について、希望するものをご回答ください。

- ①特定の課題を検討する必要があるため、部会として引き続き活動を行う。
- ②部会ではなく連絡会（仮称）として活動を進めていく。
- ③たたき台で説明を受けた体制以外の体制を望む。

➡回答： _____ ② _____ (①～③の数字を記入ください)

上記回答について、理由を記入してください。

③を選択した場合はどのような体制が望ましいと考えるか、なるべく具体的にご記入ください。

(②を選択した場合の例) 連絡会に移行しても協議会へ意見を諮ることができるため、部会としての位置づけでなくても、活動を続けることができる。

➡回答：従来から本会での検討を依頼するような課題がなかったが、毎年数回の部会を開催して活動を継続してきた。
今後もその延長線上で活動を継続していく。
本会との関係では必要に応じて事務局へ協議し、意見具申等を求めたいと考える。

部会名：施設就労部会

部会のあり方について、希望するものをご回答ください。

- ①特定の課題を検討する必要があるため、部会として引き続き活動を行う。
- ②部会ではなく連絡会（仮称）として活動を進めていく。
- ③たたき台で説明を受けた体制以外の体制を望む。

➡回答： _____ ② _____ (①～③の数字を記入ください)

上記回答について、理由を記入してください。

③を選択した場合はどのような体制が望ましいと考えるか、なるべく具体的にご記入ください。

(②を選択した場合の例) 連絡会に移行しても協議会へ意見を諮ることができるため、部会としての位置づけでなくても、活動を続けることができる。

➡回答：

部会活動当初は、工賃向上を主として他地域の先進的な取り組み等をテーマとして活動をしてきましたが、コロナ発生後対面開催が途絶えてしまったこと、働き方改革の流れの中で就業時間を過ぎての開催がやりづらくなっていること等で部会活動が正直停滞しています。

しかし、部会員の声として交流の場は必要だという共通認識はありますので、②の連絡会のような形で継続していければと考えています。

部会名：意思疎通支援部会

部会のあり方について、希望するものをご回答ください。

- ①特定の課題を検討する必要があるため、部会として引き続き活動を行う。
- ②部会ではなく連絡会（仮称）として活動を進めていく。
- ③たたき台で説明を受けた体制以外の体制を望む。

➡回答： _____ ② _____ (①～③の数字を記入ください)

➡回答：

・当事者構成比率が最も高い本部会については、設立した経緯において、当事者による相当の労力や働きかけによって成されたものであり、その意義を変更または格下げの扱いは、本意ではないと考える。

さらに、上記に加え、

- (1) 意思疎通という日常生活における基礎的な営みを常に「時代の求めや流れ」に合わせてアップデートしていくことは、当事者の日常生活そのものと捉えられ、会の名称や内容も現状を踏襲する形での変更がより望ましい。
- (2) 当事者向けには、「疎通のしやすさ」という点で各種施策が講じられてきたと受け止めているが、今般のような災害時における意思の伝え方やコロナ禍による新たな生活様式に対応した疎通方法等、途上段階にある課題も散見しており、引き続き部会員同士が集って、社会（行政）へ働きかけていくことが必要と考える。

【補足】

部会員からは

「部会のような集合体が仮に縮小となると課題が挙げづらくなるのでは」

「区とのパイプが無くなるのでは」

「部会員同士の相互理解、交流ができなくなるのでは」

との不安が根強い状況である。

そこで、今後は当事者構成比率が最も高いという特色を生かし、新たに知的・精神・自閉スペクトラム等の意思疎通自体に困難を抱く当事者にもすそ野を広げ、“目黒区ならではの当事者主体の集合体”として「当事者発信連絡会（仮）」を設け、双方向の意思疎通に必要な個々の意思決定支援にも目を向け、災害時対応等の横断的な課題の抽出及びつながりの確保も必要かつ大事ではないかと考える。

部会名：防災部会

部会のあり方について、希望するものをご回答ください。

- ①特定の課題を検討する必要があるため、部会として引き続き活動を行う。
- ②部会ではなく連絡会（仮称）として活動を進めていく。
- ③たたき台で説明を受けた体制以外の体制を望む。

➡回答： _____ ② _____ (①～③の数字を記入ください)

上記回答について、理由を記入してください。

③を選択した場合はどのような体制が望ましいと考えるか、なるべく具体的にご記入ください。

(②を選択した場合の例) 連絡会に移行しても協議会へ意見を諮ることができるため、部会としての位置づけでなくても、活動を続けることができる。

➡回答：

必要時に連絡会の意見の反映はや研修（講師）予算を部会と同等で承認されるのであれば名称は問わない。